合併 町制施行
70th・50th
自然と共存していく日の出町の未来へ

大久野中 コミュニティ・スクール

日の出町立大久野中学校
CSだより　第　４　号
令和８年３月１８日

教育目標　「自ら進んで学ぼう　　思いやりの心 感動する心をもとう　　たくましく 心とからだを鍛えよう」

大久野中学校は来年度、創立 80 周年という節目で、記念行事はやらないもののコミュニティ・スクール２年目を迎え「開かれた学校運営」への転換期であると考えています。

令和８年度に向け、学校運営委員会で熟議されたたくさんの案件がでてきました。地域人材を活用したコミュニティのクラブを立ち上げ、多様な学びの場を提供したり、修繕や学校環境の維持において、地域ネットワーク活用を模索したりすることです。また、現在の制服の伝統を守りつつ家計負担の軽減を図ったり、各学年の私費会計の 会計監査への協力など様々なことが話し合われたり、地域とつながった学校づくりを目指す熟議がされました。

１　大久野中創立 80 周年記念



来年度、大久野中創立 80 周年を迎えるにあたり、学校の象徴となる**「ロゴマーク」**の募集を行いました。大規模な記念式典は行わず、ロゴの活用や日常的な活動を通じて節目を祝う方針としています。生徒から出されたデザインを加工し、学校だよりや CS だより等の「冠」に１年間採用していきます。校長が就任以来掲げているキーワード**「生徒ファースト」**を５年目も継続し、学校運営の核とします。

２　部活動の地域展開等 と「CSC」構想

令和 11 年度までに教員の時間外在校時間の規制（月 45 時間以内）を遵守する必要が段階的にある中で、これまでと同じ形で部活動を維持することが難しくなっています。こうした状況を踏まえ、令和９年度の部活動地域展開等を見据え、部活動とは別に地域の人材を活用した新たなコミュニティ・スクールの取組として、**「CSC（コミュニティ・スクール・クラブ）」**のモデルが提案されました。

この取組では、令和９年度以降、生徒の放課後の「すき間時間」を活用し、地域住民が講師となるクラブ活動の実施を考えています。これは従来の学校部活動とは異なり、地域の人材が主体となって行う自主的な活動として位置付けるものです。

活動内容としては、将棋、消防少年団(防災)、料理(食育)、農作業、技術(リメイクや電気工作など)、文化活動(コーヒー、茶道など)といった、地域の特色や人材を生かした多様なクラブを想定しています。固定された枠にとらわれず、柔軟な発想で活動を広げていくことを目指します。

また、活動形態についても、毎週必ず実施する形式に限定せず、月１回や不定期開催など、無理のない柔軟な運営を想定しています。地域人材の確保については、まず生徒へのアンケートを実施し、**「何を学びたいか」や「何がやりたいか」を情報収集し、地域人材の「何がやれる」とマッチング**させ、ボランティアをベースに開始することを考えています。令和９年度の試行に向けて、体制の整備と組織化を進めていきます。



「用語」解説　　熟議とは

コミュニティ・スクールにおける熟議とは？

「熟議」とは、よりよい集団（学校）生活や人間関係を築くために、「協働して取り組む一連の自主的、実践的な活動」を「話し合い」を重ねながら生み出そうというものです。

３施設・環境整備と地域ネットワークの活用

学校施設の老朽化や公的予算の制約に地域の「技術力」を活用

項目	現状の問題点	提案された解決策
バスケットゴール	木部が腐食し、安全性に問題あり。業者見積もりは高額(70 万円規模)	**「商工会」**等の「業者」等に依頼し、実費に近い形での修繕を模索。
町史資料活用	貴重な郷土資料（寄贈の日の出町の町史）があり、まだ活用されていない。	春休みや夕方に資料室を開放し、子供だけでなく**大人も集まれるコミュニティ拠点**とする。
花壇整備（花ボラ）	継続的な活動資金(R7 99,946 円支出)と人材の確保が必要とされる。	令和 7 年度東京都の都市緑化基金(10 万円 R8 は 5 万円）での効率的運用と、入学式等や**「すぐーる」での新規サポーター募集**。

４　学校行事・その他について

（１）「かき氷」「ヨガ教室」



２学期始業式(9 月 1 日)**不登校対策および新学期の活力付与**として実施をし、PTA 予算からの支出依頼を検討しています。また、キッチンカーやバス（青春号）の利用や地域ボランティアの協力を想定しています。**ヨガ教室**は、年間 2 回程度、平井中元 PTA 会長小澤さんに依頼します。費用についても PTA に相談し、時間・場所・対象等は来年度に検討していきます。

（２）女子制服のミニマイナーチェンジ

制服の見た目を変えないで、従来の**女子ジャンパースカートのミニマイナーチェンジ**や、オールシーズン対応の**ニットベストの導入**を検討しています。総額で約 3,000 円～4,000 円のコストダウンをねらい、見た目を変えないため、卒業生のお下がり活用も可能と考えています。

（３）各学年私費会計の監査

都事務担当者の交代を機に、**学年費等の会計監査**を学校運営協議会の委員が担当する形式に変更し透明性を高めます。

５　学校評価書について

今年度、保護者アンケートにて、コミュニティ・スクール（CS）の評価は**５４%**でした。**「分からない」と回答した３０%の層**への浸透が次年度の課題です。

そのために、CSC(コミュニティ・スクールクラブ)の取組で地域への投げ掛けや、町史を利用して地域の大人を集めるところから子供たちへの伝承を考えていけば、徐々に浸透していくなどの意見が出されました。また、CSC が誕生すれば、より地域とのつながりが感じられるようになると感じています。

来年度、**学校運営協議委員による３年生面接練習**を実施し、学校評価の取組の中に入れることも検討していきます。

６　今後のロードマップ（令和８年度～9 年度）

❶CSC の導入準備　：アンケートに基づく地域人材の募集と生徒の要望をマッチングさせる。２～３のクラブが発足できれば最初は十分。すき間時間を利用した CSC の地域クラブへの参加を推奨。

❷女子制服の最終調整：業者との価格やデザイン交渉および保護者・地域への説明。

❸地域開放　：図書室・常設資料の地域開放やスケジュールの策定。

❹学校行事への準備　：「かき氷」「ヨガ教室」の流れや動きの検討。

